

議事概要記録

開催日時	平成 26 年 9 月 23 日 13 : 00 ~ 15 : 00	開催場所	和歌山県立医科大学附属 病院 3 階 中検技師控室
会議種別	平成 26 年度 第 4 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>検査説明・相談ができる技師育成事業について</p> <p>和臨技災害フォーラムについて</p> <p>第 36 回和歌山県医学検査学会について</p> <p>平成 28 年度日臨技近畿支部医学検査学会（第 56 回）（仮称）について</p> <p>サクラファインテック後援名称使用依頼について</p> <p>総会議案書について</p> <p>平成 26 年度精度保証施設認証申請について</p> <p>病院協会学術大会への取り組みについて（再考）</p> <p>検査展について</p> <p>その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>検査説明・相談ができる技師育成事業について</p> <p>定員 30 名に対し 25 名の申し込みがあり、引き続いて受付中であると報告があった。近畿支部学会で説明があったように、本講習を受けたからと言って直ちに検査相談室を開設するべきではないと報告があった。終了後にはアンケートを取り、今後の事業に役立てたいとのことであった。</p> <p>また、開催後は参加者全員との間で、患者向け説明文書などの情報を共有することも視野に入れているとのことであった。和学会や次年度の病院協会学術大会でも発表できればとのことであった。</p> <p>和臨技災害フォーラムについて</p> <p>12 月 20 日に向けて準備中で、講師に対しては講師依頼趣意書を発送したとのことであった。和歌山県からも講師派遣の内諾を得て、予定通り演題と演者が決定した。当日は、司会を会長と畑副会長で行い、後半プログラムの最後にディスカッションできればとのことであった。</p> <p>また、MTJ からも取材が来るとのことであった。</p> <p>第 36 回和歌山県医学検査学会について</p> <p>理事会でも実行委員長から進捗報告があるとのことであったが、特別講演について県立こころの医療センターから医師を招き、患者様だけでなくスタッフも含めたメンタル面についての見極め方・接し方・対応の仕方等について講義いただく予定であるとのことであった。</p>		

案内については月例行事予定表で行っていくとのことであった。

展示について、1社から申し出があったが和歌山学会では展示を募集する事例がなく、趣意書も存在しないため急きょ作成しマニュアル化することとなった

平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会（第56回）（仮称）について

近畿支部学会の時、オブザーバーとして竹中学会長が参加し、再来年の近畿支部学会について和歌山の意向（日臨技学会が国際学会と共に9月開催で有ることから5月に開催する旨と、医学会と日衛協とも調整すること）を説明し、了承を得たとのことであった。

年始早々に実行委員会を開催するとのことであった。

シンポジウム会議について、和歌山としては学術部による集合会議は行わない旨、規模縮小する方向で提案することとした。

高校生などを対象とした、臨床検査技師の知名度を上げる企画を行うようにと日臨技からの意向があり、具体的に企画する必要があるとのことであった。

学会専用の通帳を作成申請中とのことであった

サクラファインテック後援名称使用依頼について

後援名称使用依頼については受諾することとなったが、生涯教育研修については事後申告をお願いすることとした。また、後援名称使用依頼については不備が見受けられるため、出し直しを促すこととなった。

総会議案書について

総会運営規程を速やかに作成し、27年度定時総会では新たな総会運営にて行う事となった。各種事業の大まかな報告を簡潔に各担当理事が報告する事や、総会運営委員を新たに指名し、書面票決や挙手票決などの進捗を議長に報告するなどの総会運営を目指すこととなった。

平成26年度精度保証施設認証申請について

日臨技より和歌山県下の申請可能施設一覧が示された。12月13日に山本前日臨技執行理事より研修会を開催する事の報告があった。日臨技指定講演「データ標準化・精度保証セミナー」の受講証明書と同等の証明を発行する必要があるため、日臨技に確認することとなった。

病院協会学術大会への取り組みについて

改めて、メーリングリストや行事予定表等でも広報する事で確認した。

検査展について

日臨技より検査展案内印刷物に日本医師会等の後援団体名称を記入するよう指示があったが、印刷物はすでに配布済みで間に合わない。よって、展示パネルの一部に後援団体名称を掲示することとした。

日臨技への報告は名称なしポスターを提出することとした。

	<p>その他、検査展にはポスター展示や顕微鏡展示、ビデオ放映等で調整中である。</p> <p>その他 公益事業等で學術部の機材貸出（プロジェクタやPC）が必要なときは、和学会運営マニュアルを流用することで対応できるように配慮するとのことであった。</p>				
記録作成	平成26年10月13日	氏名	田中 規仁	提出	平成26年10月14日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可